成田空港滑走路新増設推進協議会

次　　第

日　時：２０２５年１０月１７日
　　１０：００から
場　所：ＮＡＡ本社Ｓ会議室

１．開会

２．空港会社社長あいさつ

３．議題
（１）機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

（２）その他

４．閉会

成田空港滑走路新増設推進協議会 【資料１】

機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

2025年 10月17日

成田空港滑走路新増設推進協議会

Narita Airport

Connecting Japan to the World

１．工事概況

【工事概況】

工事実施概況（B滑走路）

新規

- B滑走路延伸整備の本格工事は、本年5月25日に着工
- 現在、東関東自動車道の地下道化や造成工事を進めており、今後は舗装工事等に着手していく予定

B滑走路延伸部造成整備
（盛土造成実施中：2025年9月）

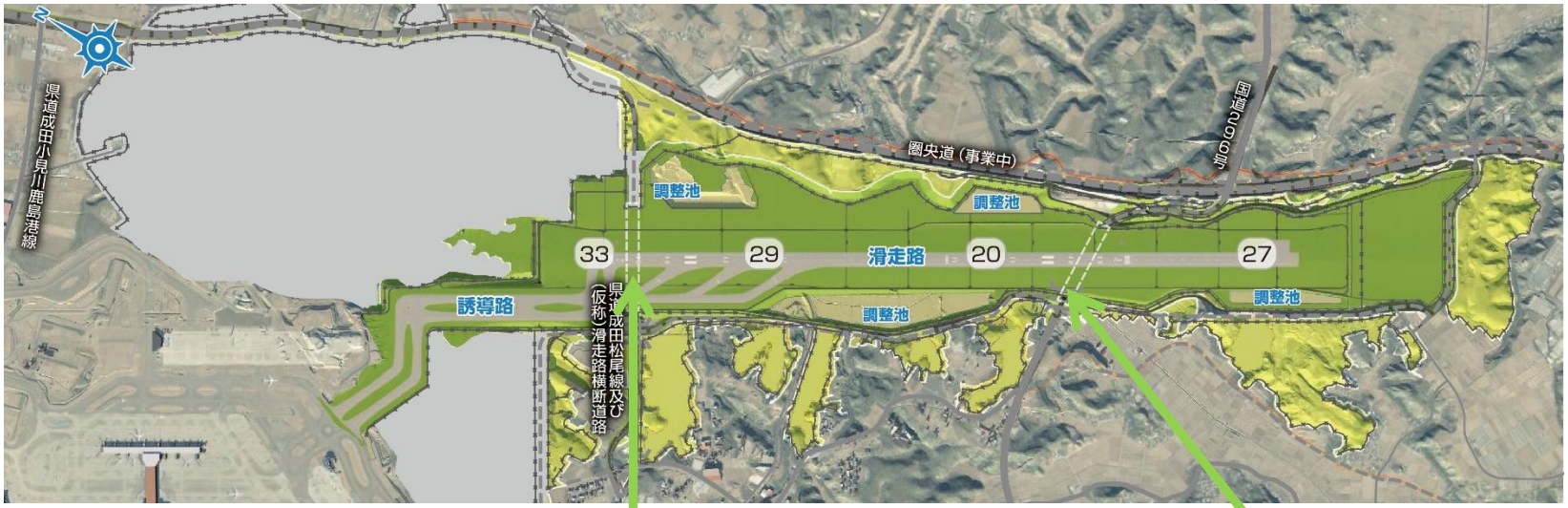
東関東自動車道・切り回し・地下道化
（トンネル躯体構築中：2025年9月）

【工事概況】

工事実施概況（C滑走路）

新規

- C滑走路新設整備の本格工事は、本年5月25日に着工
- トンネル部の軟弱地盤の改良に着手し、今後面的な切盛土など造成工事を進めていく



C滑走路地区:軟弱地盤の分布
（図中緑線の内側:精査中）

C滑走路横断道路（トンネル）整備
（地盤改良工実施中:2025年9月）

C滑走路南側造成工事（その1）
（地盤改良工実施中:2025年9月）

【工事概況】

工事における環境対策

新規

■ 各工事については、以下のような環境対策を行い、地域へ配慮の上、鋭意整備を進めている状況

騒音・粉塵・振動対策

防塵用ネットの設置

工事専用道路を整備し交通を分離

噴霧器による粉塵対策

散水車による粉塵対策

濁水対策

濁水処理施設の設置

沈砂池等による濁水対策

２．第2の開港プロジェクトにかかる動き

【第2の開港プロジェクトにかかる動き】

新貨物地区の方向性

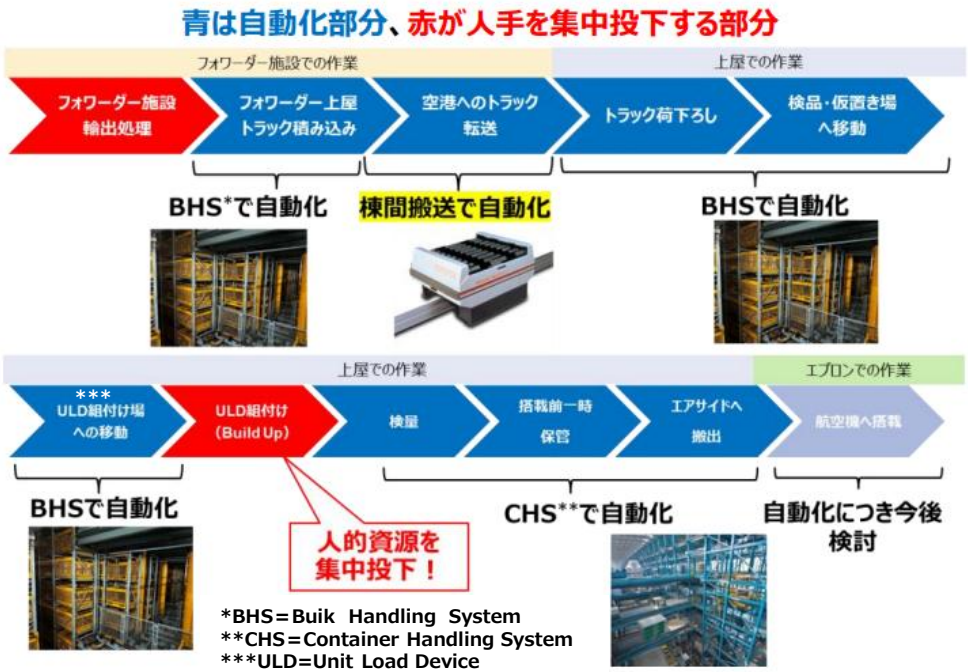
新規

Narita Airport

- ■ 最高水準の物流効率性を追求する新貨物地区を整備し、空港隣接地との一体的運用や圏央道とのスムーズなアクセスができ、環境負荷の低減や地域発展にも貢献する貨物取扱施設の実現を目指す。
- ■ 新貨物地区は2030年代初頭の供用を予定。
- ■ 成田空港と圏央道を直結し、最短でアクセスする新たなIC（成田空港周辺IC（仮称））は千葉県県土整備公共事業評価審議会にて事業の必要性が認められたところ。

自動化による効率化

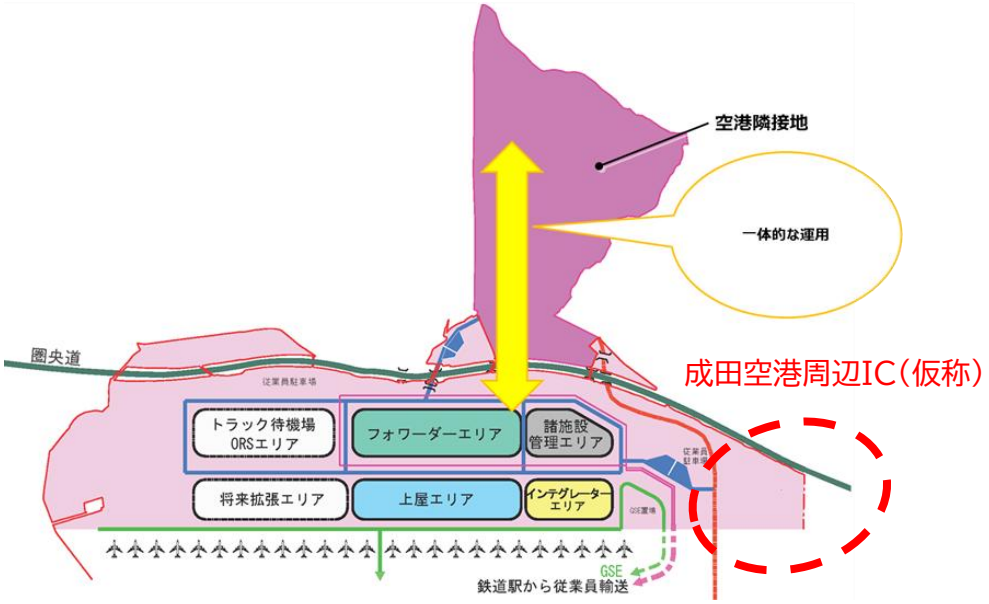
- ✓ 徹底的な自動化・機械化による世界最高水準の効率性・生産性向上
- ✓ 新貨物地区内における貨物荷姿の標準化
- ✓ 人手による作業の選択と集中による労働環境の向上



空港隣接地との一体的運用

- ✓ 新貨物地区と空港隣接地との一体的運用を通じ航空物流と親和性の高い新たな需要を誘致
- ✓ 新貨物地区と空港隣接地を一団の土地とし総合保税地域化し、効率性・ 生産性向上

新貨物地区ゾーニングと空港隣接地との一体的運用のイメージ



【第2の開港プロジェクトにかかる動き】

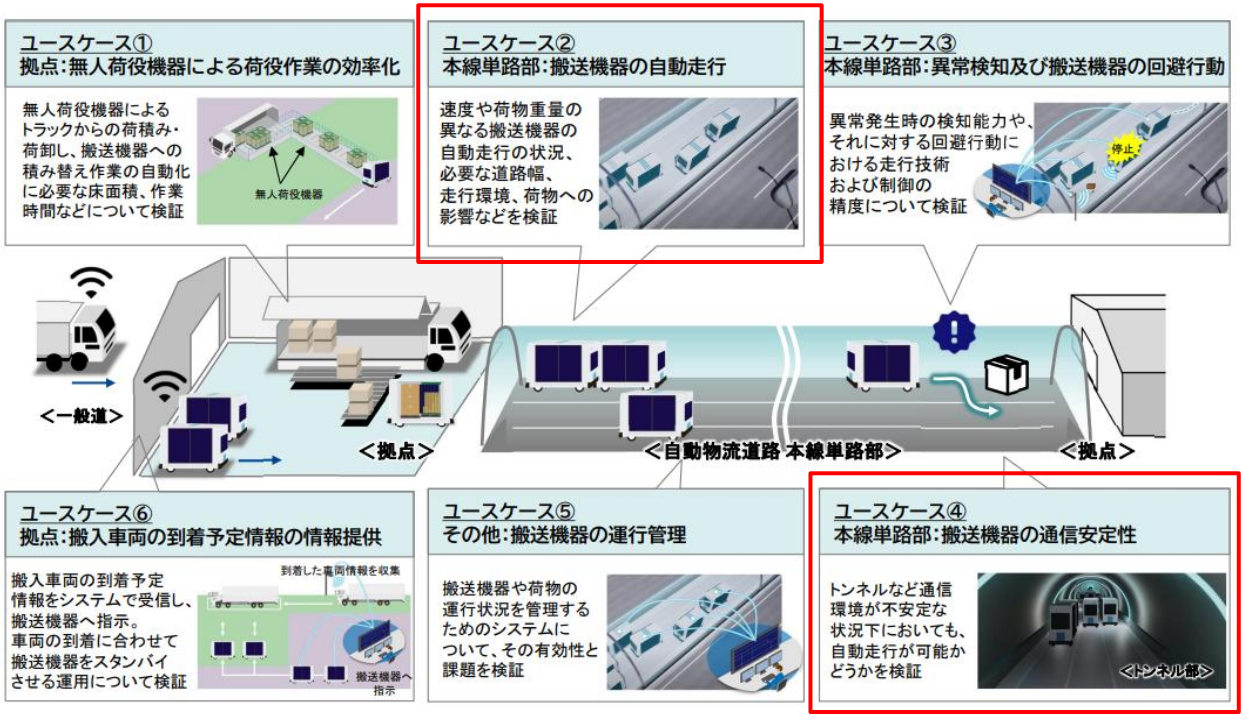
成田空港での自動物流道路の実現に向けて

新規

Narita Airport

- 国土交通省で「令和7年度自動物流道路の社会実装に向けた実証実験」として、既存の技術・施設における実験を通じ、自動物流道路の実装に向けた技術的課題の検証および運用に必要な条件整理を行っている。
- 成田空港においても、「エアポートシティ」構想で物流分野の効率化・高度化に向け、空港内貨物施設を起点とする自動物流道路を整備することを掲げている。
- 今般、成田空港周辺をフィールドとした実証実験が国土交通省で採択。今後、新貨物地区と隣接地の自動搬送、さらには成田・羽田間の貨物搬送の自動化に向け、空港周辺での実証実験に取り組んでいく。

- 実施場所：成田空港周辺施設（下図参照：県道成田小見川鹿島港線トンネル部内の未供用部等）
- 検証期間：令和7年度内（12月～２月頃）
- 対象機器：PLiBOT社の機器を含む複数の機器を使用しての実験を検討
- 実験内容：道路局の公募内容におけるユースケース②・④



３．用地確保等に向けた取り組み状況

【用地確保等に向けた取り組み状況】

用地の確保状況及び今後の取り組みについて

時点更新

Narita Airport

■ 用地取得については、
用地確保等の今後の取り組み方針に則り、
引き続き丁寧に用地交渉を進めており、
2025年９月末現在で86.2%を確保。

2025年9月末時点

	民有地	公用地	NAA用地	計
必要面積	７４３ｈａ	１１５ｈａ	２４１ｈａ	１，０９９ｈａ
うち契約面積	582ha ⇒ 591ha (78% ⇒ 79.5%)	－	－	**確保率 85.3% ⇒ 86.2%**

※2025年7月末時点との比較 ／ 確保率(契約済民有地＋公用地＋NAA用地)

■ **用地確保等に向けた取り組みを進める中で、一定の用地確保に至っているが、補償の考え方へのご理解を得られない、空港の機能強化にご理解が得られない、相続手続きが未了である、といった課題の解決に至っていない状況は続いている。**

■ **このような状況にあることから、関係者と一層連携して、以下の取り組みを総動員するのはもちろん、これまで以上に工夫しながら用地確保の加速化に全力をあげていく。**

①これまでの取り組みを継続して着実に遂行
②用地確保等の体制強化を実施（**実施済**）
③地権者が契約に至るための条件を速やかに整えることに注力

以下のような対応を重点的に行いつつ、協力を求めて丁寧に用地交渉を実施中。

- ✓ 当該地権者の周囲の関係者の方の協力もいただきながら交渉。
- ✓ 相続やその他の権利関係の整理に時間を要している地権者の方に対しては、法的サポート※を実施するとともに、当事者において協議が円滑にまとまるよう働きかける。
- ✓ 代替地の多様な情報提供※を含めて、補償の考え方等を改めて丁寧に説明。

※詳細
→遺産分割協議に向けた財産管理人選任手続き、遺産分割に関する司法手続きのご案内、弁護士への法的見解の確認
→農地等の生活再建に資する代替地の情報

④リーフレットの配布やオープンハウス（対話型説明会）の開催

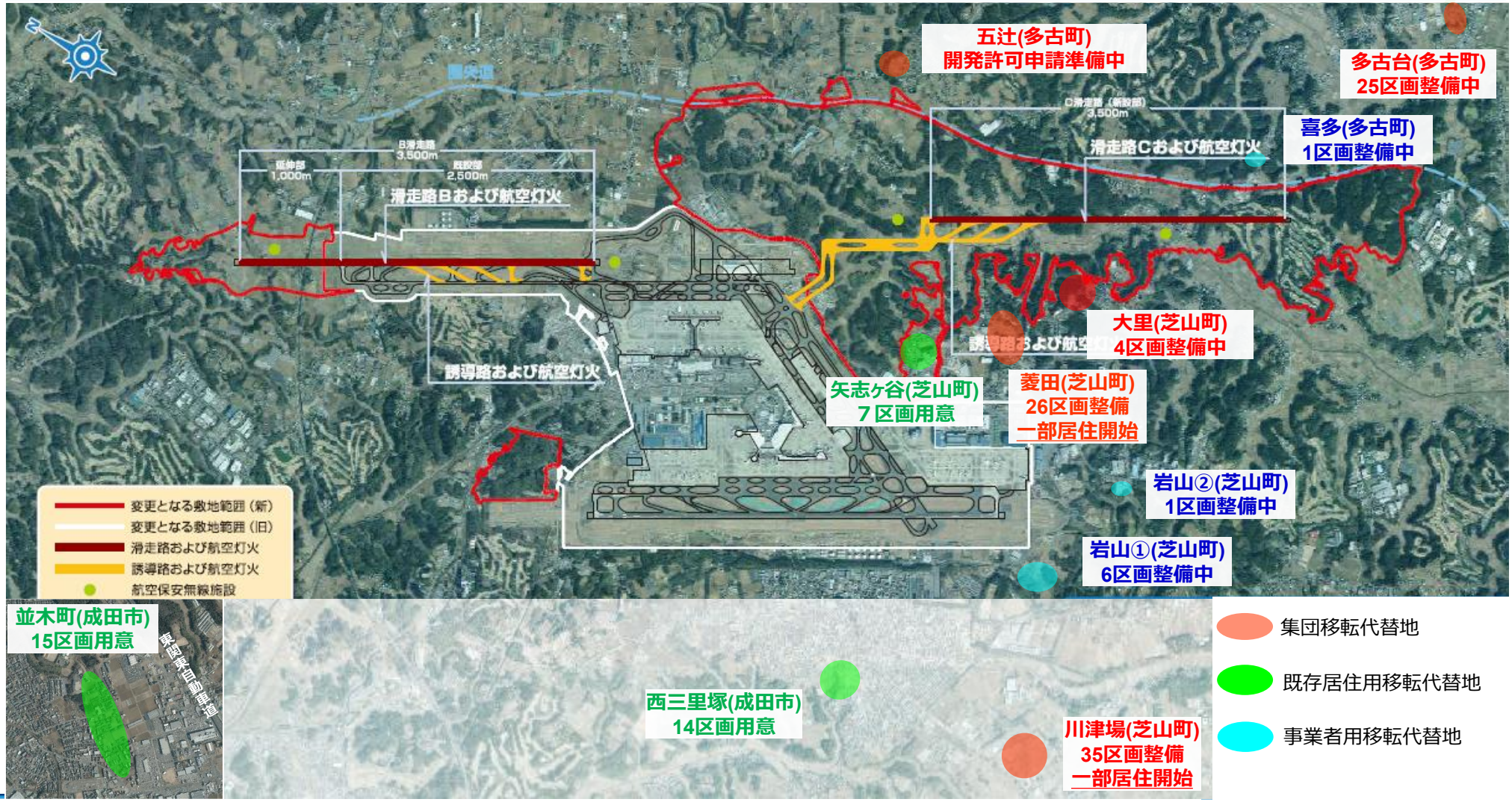
【用地確保等に向けた取り組み状況】

移転用代替地位置図

時点更新

Narita Airport

■ 移転対象戸数　約２００戸（拡張区域全域の住居）に対して、現在１２６区画を整備（整備中含む）。
■ 法人所有物件　約５０件（拡張区域全域）に対して、現在８区画を整備中。
■ 整備代替地の現在の整備状況については、次頁のとおり。



※既存居住用移転代替地の「用意」とは、造成工事を要せず、区割りとこれに伴う道路の整備であることから表現を変えているもの。

【用地確保等に向けた取り組み状況】

移転用代替地整備状況

時点更新

Narita Airport

■ 芝山町内代替地のうち、川津場代替地（35区画）、菱田代替地（26区画）は整備が完了し、移転される方が住宅を建築中。
■ 多古町内代替地のうち、五辻代替地については、開発許可申請準備中。
■ 他の代替地については以下の通りの状況。

○集団移転用代替地整備状況

【大里代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約0.77ha
区画数
⇒3区画
※近隣で別途
１区画整備

【多古台代替地】⇒近日完了予定

●整備計画

開発面積
⇒約2.0ha
区画数
⇒25区画

（参考）整備完了代替地

○事業者用代替地整備状況

【岩山①代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約4.0ha
区画数
⇒6区画

【岩山②代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約1.6ha
区画数
⇒1区画

【喜多代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約1.4ha
区画数
⇒1区画

【用地確保等に向けた取り組み状況】
リーフレット（第２号）の発行について

時点更新

Narita Airport

- ■ オープンハウスの開催概要の案内を主たる内容として、第2号を10月22日に新聞折込にて配布開始予定。
- ■ 別途、地区回覧等（各自治体の事情に沿った対応）も実施予定。
- ■ 配布先は、成田市、芝山町、多古町をはじめとした千葉県内空港周辺９市町及び茨城県稲敷市、河内町。

【表面】

第２号：2025年10月発行

発行：成田空港機能強化事業推進協議会（国土交通省航空局・千葉県・成田市・芝山町・多古町・NAA）

成田空港の明日を、いっしょに

成田空港 第２の開港プロジェクト ― 更なる機能強化 ―

地域とともに、未来へはばたく空港へ。

日本の玄関口である成田空港ではいま、もう一つ新たな空港をつくる規模の事業、「更なる機能強化」が進められています。このおたよりでは、この事業が具体的にどういうものか？地域のみなさまにどのような効果をもたらすのか？工事はどのくらい進んでいるのか？といった内容をお知らせしてまいります。

更なる機能強化はなぜ必要か ― 国家プロジェクトとしての空港拡張 ―

拡大する航空需要を取り込み、ヒト・モノの交流を活性化することで、日本の国際競争力の強化や地域の活性化を図る必要があります。

観光先進国の実現に向けて、政府目標である「2030年訪日外国人旅行者数6,000万人」の達成を目指しています。

これらを実現するためには首都圏空港における容量拡大が必要不可欠であり、特に国際線の基幹空港である成田空港が果たす役割は非常に重要です。

成田空港の滑走路の新設・延伸へ

空港敷地面積 1,198ha→2,297ha

年間発着枠を30万回*から50万回へ拡大

*2025年10月下旬以降は34万回に拡大

発着回数50万回時に期待される効果

旅客数（年間）	貨物量（年間）	空港内従業員
4,000万人	200万t	4万人
↓	↓	↓
約7,500万人	約300万t	約7万人

周辺地域で期待される効果

- 地元企業の成長
- 企業進出
- 地元農水産品の輸出拡大
- 雇用の創出
- 観光客の増加
- 空港へのアクセス交通の充実
- 道路ネットワークの拡充

オープンハウス（対話型説明会）を開催いたします

成田空港の更なる機能強化の内容や事業の進捗状況、今後の空港の発展と地域の発展等についてのオープンハウス（対話型説明会）を開催いたします。
説明パネルの展示を行うほか、皆様のご質問等にお答えするとともに、ご意見等も承ります。
事前のお申込等は必要ありません。お住まいの市町村に関係なく、どなたでもお越しいただけます。
日程・場所は裏面に記載しております。

用地確保の状況

NAAが引き続き丁寧に用地交渉を行っており、2025年９月末時点で86.2%を確保しております。

	民有地	公用地	NAA用地	計
必要面積	743ha	115ha	241ha	1,099ha
うち契約面積	約582ha → 591ha（78% → 79.5%）	―	―	確保率 85.3% →86.2%

※2025年7月末時点との比較。　確保率（契約済民有地＋公用地＋NAA用地）

【裏面】

オープンハウス（対話型説明会）　日程・会場

開催日	時間帯	市町名	会場名
10/26(日)、27(月)、28(火)	各日 10時～16時	芝山町	芝山町役場 本庁舎1階町民ホール
10/31(金)、11/1(土)		香取市	香取市役所 1階ロビー
11/14(金)、15(土)、16(日)		多古町	多古町コミュニティプラザ1階展示ホール
11/28(金)、29(土)		神崎町	神崎ふれあいプラザ　展示ホール
11/30(日)、12/1(月)		成田市	成田市役所 本庁舎1階 市民ロビー
12/5(金)、6(土)		栄町	ふれあいプラザさかえ ふれあいセンター1階　展示ロビー
12/12(金)、13(土)		山武市	松尾交流センター 洗心館（松尾公民館）
12/19(金)、20(土)		横芝光町	横芝光町町民会館　大ホール
12/21(日)			横芝光町文化会館　集会室
2026年			
1/9(金)、10(土)	各日 10時～16時	稲敷市	稲敷市役所　1階ロビー
1/16(金)、17(土)		河内町	河内町農村環境改善センター　ロビー
1/18(日)、19(月)		富里市	富里市すこやかセンター（保健センター）1階

各会場の所在地等詳細はこちら

機能強化工事の進捗状況

更なる機能強化事業に関するウェブサイト「成田空港の明日を、いっしょに」にて、工事の進捗状況を写真でご覧いただける特設ページを新設いたしました。
右にございます二次元コードより是非ご覧ください。

B 滑走路延伸 工事進捗状況、完成イメージ

進捗が気になる箇所をクリックすると・・・

工事進捗状況写真

①全景

工事の進捗状況の写真をご覧いただけます

詳しくはこちら

更なる機能強化事業についてもっとお知りになりたい方は

HP　成田国際空港(株)HP「成田空港の明日を、いっしょに」https://www.narita-kinoukyouka.jp/

TEL　0570-000-955（平日 9:00～17:00）※ナビダイヤル

第２号　2025年10月発行｜発行：成田空港機能強化事業推進協議会（国土交通省航空局・千葉県・成田市・芝山町・多古町・NAA）

【用地確保等に向けた取り組み状況】

オープンハウス（対話型説明会）の開催について

時点更新

Narita Airport

前回の協議会での結果のもと、本協議会員が連携した取り組みとして、千葉県内空港周辺９市町、茨城県稲敷市及び河内町のご協力をいただき開催。

【実施内容】

各滑走路の整備計画等を案内する3分程度の動画の放映、パネル展示の実施と説明

【体制】

ＮＡＡ社員に加えて、国、千葉県、開催地の市町の職員も参加

【オープンハウス（対話型説明会）開催日程】 ※全日10：00～16：00で開催

開催日	市町	会場
10月26日(日)･27日(月)･28日(火)	芝山町	芝山町役場本庁舎 1階町民ホール
10月31日(金)･11月１日(土)	香取市	香取市役所１階ロビー
11月14日(金)･15日(土)･16日(日)	多古町	多古町コミュニティプラザ 1階展示ホール
11月28日(金)･29日(土)	神崎町	神崎ふれあいプラザ展示ホール
11月30日(日)･12月１日(月)	成田市	成田市役所本庁舎 1階市民ロビー
12月５日(金)･６日(土)	栄町	ふれあいプラザさかえ ふれあいセンター１階展示ロビー
12月12日(金)･13日(土)	山武市	松尾交流センター洗心館 (松尾公民館)
12月19日(金)･20日(土)	横芝光町	横芝光町町民会館　大ホール
12月21日(日)		横芝光町文化会館　集会室

開催日	市町	会場
１月９日(金)･10日(土)	稲敷市	稲敷市役所　1階
１月16日(金)･17日(土)	河内町	河内町農村環境改善センターロビー
１月18日(日)･19日(月)	富里市	富里市すこやかセンター (保険センター) 1階

※周知については、リーフレット（第2号）にてご案内。

Narita Airport
Connecting Japan to the World

成田空港滑走路新増設推進協議会【資料2】

滑走路新増設推進に向けた連携（県・市町の主な取組）

令和7年10月17日

滑走路新増設推進に向けた連携

県の主な取組①

移転代替地整備に係る各行政手続きの適時・適切な対応

時点更新

○芝山町集団移転用代替地

川津場地区（整備完了）
⇒開発行為の工事完了検査済、
農地転用許可済

菱田地区（整備完了）
⇒開発行為の工事完了検査済、
農地転用許可済

大里地区（整備中）
⇒林地開発に関する相談対応、開発許可済

○多古町集団移転用代替地

多古台地区（整備中）
⇒開発許可済、工事完了検査を実施

五辻地区（整備予定）
⇒林地開発に関する相談対応

○事業者用代替地

芝山町 岩山①地区（整備中）
⇒開発許可済、廃掃法・建築基準法等に係る
事前相談対応中

芝山町 岩山②地区（整備中）
⇒開発許可済

多古町 喜多地区（整備中）
⇒林地開発に関する相談対応、開発許可済、
農地転用許可済

○県が保有する空港代替地の活用

⇒県が保有する空港代替地の活用については、
NAAと情報共有しながら、地権者の要望に
応じて進めていく。

滑走路新増設推進に向けた連携

県の主な取組②

時点更新

埋蔵文化財調査の迅速実施

⇒NAA取得用地の準備が整い次第、速やかに調査に着手できるよう財団の体制を整えている。

・令和7年度に調査員2名の増員を予定。

・県から各都道府県・政令市へ調査員派遣を依頼。併せて、県及び航空局から文化庁へ協力依頼。

・文化庁から各都道府県・政令市に対して、県への調査員派遣の依頼文書を発出。

・文化庁主催「全国埋蔵文化財・史跡保護行政担当者会議」で調査員派遣を依頼。

⇒県教育庁において、NAA社内体制強化へ協力している。

・令和7年度からNAAへ職員1名を派遣。

⇒整備中の代替地のうち、芝山町大里地区・岩山②地区、多古町喜多地区について埋蔵文化財調査を完了、多古町五辻地区について調査を実施中。

※千葉県教育振興財団において、引き続き迅速に調査を実施していく。

地権者の生活の安定の確保

⇒騒音対策区域内通勤農業補完事業補助金を活用した農業経営の支援について、相談を受けている事案に対し、引き続き適切に対応していく。

滑走路新増設推進に向けた連携

県の主な取組③

時点更新

周辺道路整備への協力

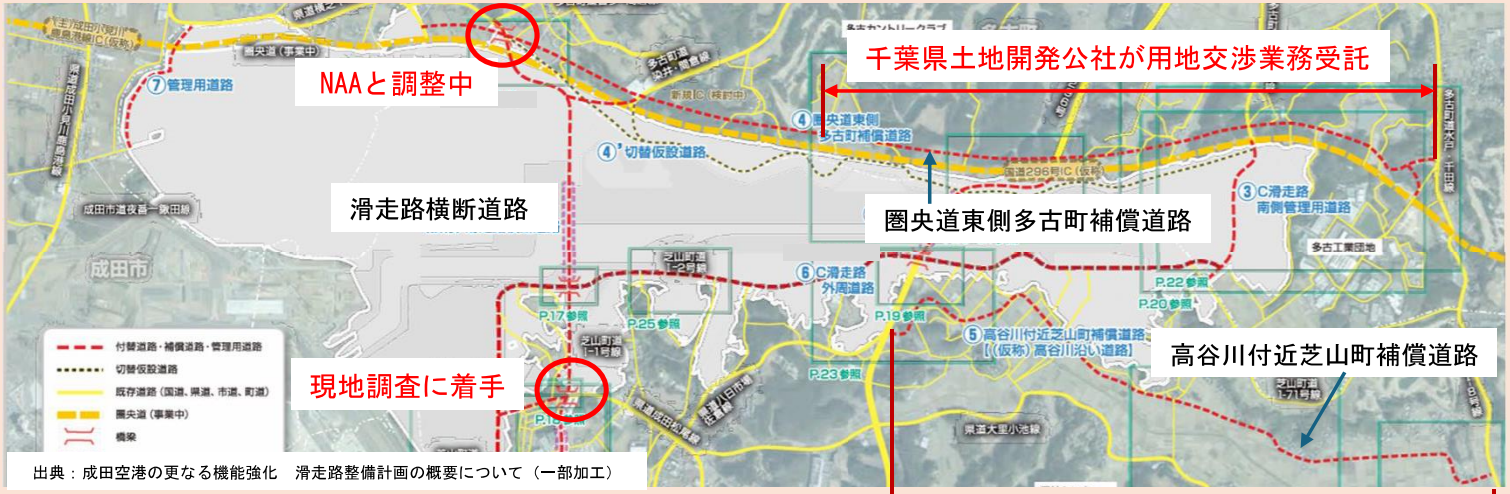
○補償道路への対応

⇒NAAが整備を進める機能補償道路について、千葉県土地開発公社が用地交渉業務を受託

○滑走路横断道路への対応

⇒NAAと千葉県の共同で整備し、多古町側をNAA、芝山町側を千葉県が用地取得する協定を締結（R6.3）

- 芝山町側の取付部の用地を千葉県で取得することとしており、設計に必要な現地調査に着手
- 多古町側の取付部の用地を千葉県で取得することについて、NAAと調整中



出典：成田空港の更なる機能強化　滑走路整備計画の概要について（一部加工）

各種行政相談窓口での相談対応

⇒相談が寄せられた場合に適宜対応

滑走路新増設推進に向けた連携

市町の主な取組①

移転代替地整備に係る各行政手続きの適時・適切な対応

時点更新

【成田市】
- 既存代替地（西三里塚地区）の一部に係る市街化区域編入手続き中、他の街区に係る開発許可済
- 代替地整備に伴う公共物（道路・公園等）整備の協議
- 開発許可済（並木町地区）

【多古町】
- 代替地整備に伴う公共物（道路・公園等）整備の協議
- 開発行為の事前審査の実施（多古台・五辻・喜多地区）
- 代替地整備に係る伐採届（森林法）の受理（五辻地区）
- 移転代替地整備のための町有地の譲渡（多古台地区）

【芝山町】
- 代替地整備に伴う公共物（道路・公園等）整備の協議
- 開発行為の事前審査の実施（川津場・菱田・岩山地区）
- 移転代替地整備のための町有地の譲渡（菱田地区）
- 神社の移転先としての町有地の譲渡
- 用途地域の見直し、地区計画の策定（川津場地区）

滑走路新増設推進に向けた連携

市町の主な取組②

時点更新

墓地に係る各行政手続きの適時・適切な対応

⇒墓地の改葬等に係る相談が寄せられた場合に適宜対応（成田市・芝山町・多古町）

埋蔵文化財調査の迅速実施

⇒文化財保護法に基づく届出等への対応（成田市・芝山町・多古町）

その他

〇町内への移転者等を対象とした補助制度の創設等（芝山町・多古町）

〇移転代替地における新自治会の設立等支援（芝山町）

〇移転代替地における既存自治会との調整(多古町)

〇税務署が行う、成田空港へ用地を提供した方の確定申告相談会への協力（多古町）

〇各種行政相談窓口での相談対応（成田市・芝山町・多古町）

⇒相談が寄せられた場合に適宜対応

「成田空港滑走路新増設推進協議会」の結果について（概要）

2025 年10月17日
推進協議会事務局

国土交通省、千葉県、成田市、芝山町、多古町及び成田国際空港（株）は、本日、成田空港滑走路新増設推進協議会を開催し、機能強化に向けた取り組み状況について共有し、より一層緊密に連携して、用地確保の加速化に全力をあげていくことを確認しました。

【開催概要】

1 日 時　　2025年10月17日（金） 10：00 ～11：00

2 場 所　　成田国際空港株式会社本社ビル1階 S 会議室

3 議 題

（1）機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

（2）その他

4 出席者

・国土交通省航空局長　　宮澤（みやざわ） 康一（こういち）

・千葉県知事　　熊谷（くまがい） 俊人（としひと）

・成田市長　　小泉（こいずみ） 一成（かずなり）

・芝山町長　　麻生（あそう） 孝之（たかゆき）

・多古町長　　平山（ひらやま） 富子（とみこ）

・成田国際空港株式会社代表取締役社長　藤井（ふじい） 直樹（なおき）

5 結果概要

別紙のとおり

別紙

≪推進協議会結果概要≫

1　機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

○　これまでの推進協議会において成田空港会社から示された、用地確保等に向けた今後の取り組みが実施されており、用地確保が 85.3%（2025年7月末時点）から 86.2%（2025年9月末時点）まで進捗していることを確認した。

○　一方で、成田空港会社として、前回の推進協議会で確認した課題に対応した重点的な取り組みを講じてきたものの、課題の解決には至っていない状況が続いており、成田空港会社、国、県、市町は、より一層緊密に連携して、課題に対応した重点的な取り組みや、本日共有された県・市町の取り組み、さらには、リーフレットの配布、オープンハウス（対話型説明会）の開催といった取り組みを総動員するのはもちろん、これまで以上に工夫しながら用地確保の加速化に全力をあげていくことを確認した。